

ドラッグインフォメーション

2024年5月作成

販売名	酒石酸「コザカイ・M」		発売元	吉田製薬株式会社	
局方名	日本薬局方 酒石酸		製造販売元	小塚製薬株式会社	
洋名	Tartaric Acid		販売開始年月	1949年8月	
一般名	酒石酸		薬価収載年月	1950年10月	
剤形	散剤		薬価	10g 27.40	
規制区分	普通薬		日本標準商品分類番号	877149	
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	7149009X1071	YJコード	7149009X1071	健保適用	
組成	1g中 日局 酒石酸 1g				
性状	無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、においはなく、強い酸味がある。 水に極めて溶けやすく、エタノール(95)に溶けやすく、ジエチルエーテルに溶けにくい。 本品の水溶液(1→10)は右旋性である。				
効能又は効果	緩衝・矯味・発泡の目的で調剤に用いる。 また、リモナーデ剤の調剤に用いる。				
用法又は用量	緩衝・矯味・発泡の目的で調剤に用いる。 また、リモナーデ剤の調剤に用いる。				
薬物動態	ヒトに2gを経口投与すると約20%は尿中に未変化体として排泄され、残りは吸収されずふん便中に排泄される。 また非経口的に投与すると未変化体のまま定量的に排泄される。				
非臨床試験	急性毒性: LD ₅₀ (経口投与) マウス 4360mg/kg LD (経口投与) イヌ 5000mg/kg 亜急性毒性: イヌに酒石酸を990mg/kg/日の量で与えたところ、90日から114日のうちに尿円柱が生じ、90日目に死に至った動物に窒素血症がみられた。 慢性毒性: ラットに酒石酸を0.1%、0.5%、0.8%及び1.2%添加した飼料を2年間与えたが、異常は認められなかった。 動物での吸収・分布・代謝・排泄: イヌ又はウサギに投与すると74~99%が未変化体のまま排泄される。				
構造式	分子式 : C ₄ H ₆ O ₆ 分子量 : 150.09 構造式 : $\begin{array}{ccccccc} \text{H} & \text{O} & \text{O} & \text{C} & - & \text{C} & \text{H} & - & \text{C} & \text{H} & - & \text{C} & \text{O} & \text{O} & \text{H} \\ & & & & & & & & & & & & & & & \\ & & & & & & \text{O} & \text{H} & & \text{O} & \text{H} & & & & & \end{array}$				
取扱い上の注意	薬剤調製時の注意 【配合変化】 Ca ²⁺ は難溶性塩を、NH ₄ ⁺ 、K ⁺ は難溶性の酒石酸水素塩を生じる。 貯法: 室温保存 使用期限: ラベルに記載(有効期間: 3年)				
備考	包装単位: 500g	文献請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央 5-1-10 TEL: 03-3381-2004		